

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和 8年 8月 3日

山北町議会議長 瀬戸 恵津子 殿

受付番号	第2号	質問議員	4番	高橋 純子	
件名	若者を惹きつけるまちづくりの推進を				
要 旨					
当町では、高校卒業後、多くの若者が進学や就職を機に町を離れている。それは自然なことであると認識している。しかし、町とのつながりまで途切れてしまえば、将来のUターンや地域との関わりの可能性は小さくなってしまう。定住促進に向けた施策は重要であるが、その前段階として、町を離れた若者とも継続的なつながりを育むことが、将来の定住や関係人口の拡大にもつながるものと考えます。 住んでいなくても町と関わり続けられる仕組みがあれば、若者との関係を育み、将来のUターンや二地域居住、さらには地域での仕事や活動へとつながる可能性が広がる。町を離れても「仲間」であり続けられる環境をつくることは、これからのまちづくりに欠かせない視点であると考え、以下の質問をする。 1. 進学や就職で町外へ転出した若者と町に関心を持つ若い世代と継続的な関係づくりをするため、オンラインやSNSなどを活用した参加・交流の仕組みづくりを進める考えはあるか。 2. 若者との継続的なつながりを、将来的なUターン・Iターンだけでなく、地域活動や起業、二地域居住など多様な形で町に関わる人材の育成につなげていく考えはあるか。 以上					